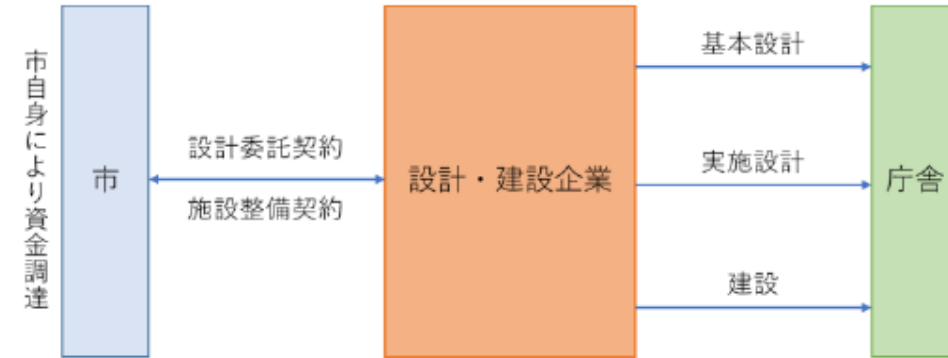


設計施工業務の発注に向けた取組み

1 設計施工一括発注方式について（引用：基本計画改定版）

- 設計者及び施工者を同時に選定・発注する方式
- 基本設計一体型で実施予定
- 設計や仕様に発注者の意向を反映する仕組みを検討します。



設計から施工までを、**一括で上限額を定めて発注**

2 発注する上でのポイント

- ① **設計・施工の具体的な方針を、要求水準書として定める必要があります。**
 - ➡ 専門的知見を有する建設コンサルタント業者の支援を受け、要求水準書（案）等の取りまとめを行います。
- ② **経済社会情勢等、環境が変化中、不調・不落の回避が必要です。**
 - ➡ 公告前に**要求水準書等の案を公表し、関連事業者に対しヒアリング**を行います。

3 発注の流れ

要求水準書（案）等の作成

～令和8年11月頃

要求水準書（案）等の公表

令和8年11月末頃

案に係る意見聴取

～9年1月頃

要求水準書（案）等を公表し、ゼネコン、設計会社等各社に対し確認。質疑や意見等の内容に応じて適宜調整

設計施工予算計上

公告

提案書の募集

募集期間 6か月程度

プロポーザル審査
優先交渉権保有者の決定

基本協定締結・仮契約

契約内容を確認。事業費の内訳及び算定方法を精査し、契約額の妥当性確認等を行い、合意形成

議会議決・本契約

基本設計着手

○ 要求水準書（案）で整理する項目（一例）

- ・ 必要諸室及び機能
- ・ 階層構成、動線等に関する条件
- ・ セキュリティ区画すべきエリアの設定
- ・ 議場の設計条件
- ・ 障がい者等に配慮した設備の想定
- ・ 災害対策本部及び関連室の配置、面積、設置機器等の条件
- ・ Nearly ZEB等、環境性能基準
- ・ 各種法令基準への適合要件
- ・ 維持管理・運用面での要求事項
- ・ 構造・設備に関する技術的要求事項
- ・ 性能発注に適した要求水準の表現方法の検討
- ・ 成果物・設計図書要件

○ 募集要項（案）で整理する項目（一例）

- ・ 要求水準書（案）に基づく予定価格の算定
- ・ 様式集の作成
- ・ プロポーザル審査・評価方法の構築
- ・ リスク分担の整理等、契約条件の検討
- ・ JV組成要件の検討

専門的知見を持つ建設コンサルタントの支援※の下、要求水準書（案）等の検討から契約までの発注に係る取組みを推進

※ 発注支援業務（R8～9債務負担行為）

参考 全体スケジュール

